

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-133	16-059	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
Alcohol use and alcohol-related problems among adolescents in China: A large-scale cross-sectional study. 中国の青少年における飲酒および飲酒関連問題：大規模横断研究		
執筆者		
Guo L, Deng J, He Y, Deng X, Huang J, Huang G, Gao X, Zhang WH, Lu C.		
掲載誌		
Medicine (Baltimore). 2016 Sep;95(38):e4533. doi: 10.1097/MD.0000000000004533.		
キーワード		PMID
青少年、飲酒、飲酒関連問題、中国、大規模調査		27661013
要 旨		
<p>目的： 不適切な飲酒行動は世界中の問題であり、中国も同様である。本研究では中国の青少年における飲酒とその関連問題について検証し、それらの危険因子などを探索する。</p> <p>方法： 高校生対象の匿名質問票を用い2010–2012年に行った横断研究。飲酒とその関連問題、学校・家族・精神社会的要因に関する自己報告による情報を収集した。それらの記述的分析及び、飲酒・飲酒関連問題についての多変量ロジスティック分析を行った。</p> <p>結果： 9-21歳の生徒105,752人のうち、現在飲酒者は7.3%、アルコール関連問題を有すると考えられる者は13.2%であった。男性は女性に比べ現在飲酒・アルコール関連問題を有するオッズ比が高く、それぞれ1.78 (95%信頼区間：95%CI=1.69–1.87)、1.86 (1.79–1.93)であった。また現在飲酒・アルコール関連問題のオッズ比は、高学年ほど高く（調整オッズ比=AOR[95%CI]がそれぞれ1.09 [1.05–1.13]、1.43 [1.42–1.58]）また、年齢が高いほど高かった（AOR=1.06 [1.04–1.17]、1.83 [1.82 –1.85]）。クラスメートとの交流関係が乏しい者（AOR=1.28 [1.03–1.37]）、教師との関係が不適切な者（AOR=1.08 [1.00–1.16]）、学業成績が平均以下である者（AOR=1.50 [1.41–1.59]）は現在飲酒と関連していた。さらに現在飲酒と飲酒関連問題ともに、自殺考慮者（AOR=1.70 [1.61–1.81]、2.08 [1.98–2.16]）および、うつ傾向あり（Center for Epidemiology Scale for Depression スコアが高値）の者（AOR=1.09 [1.05–1.11]、1.08 [1.06–1.18]）で有意に関連していた。</p> <p>結論： 不適切な飲酒行動は中国の青少年においても主要な公衆衛生学上の問題であり、有効な対策のためには、個人要因、社会要因、環境要因などを総合的に考慮する必要がある。</p>		